

「鯖江市の新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会」 第5回会議録

1. 日 時 平成25年11月7日(木) 19:00~20:15

2. 場 所 市役所別館4階全員協議会室

3. 出席者

〈懇話会委員〉

2 梅田 委員	3 江川 委員	5 窪田 委員	7 齋藤 委員
11 菅谷 委員	12 鈴木 委員	13 相馬 委員	14 高橋 委員
15 西川 委員	17 野上 委員	18 野村 委員	20 福島 委員
21 堀 委員	22 蓑輪 委員		

欠席者(11名)

1 宇坪 委員	4 勝木 委員	6 近藤 委員	8 佐々木 委員
9 佐飛 委員	10 澤崎 委員	16 西村 委員	19 橋本 委員
23 村田 委員	24 山本 委員	25 吉村 委員	

〈福井県〉

交通まちづくり課 白崎 企画主査

〈鯖江市〉

牧野 鯖江市長

〈事務局〉

加藤 総務部長	軽部 総務課長
斉藤 秘書企画課参事	中村 商工政策課参事
近藤 総務課課長補佐	

4. 会議次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 意見交換
- 4 閉会

【会議内容】

- ・ 福井鉄道等公共交通機関を利用して交通網を整備することにより、南越駅や福井駅から鯖江駅までの便利がよくなるとよいと思う。
- ・ 道路や交通網の整備は重要なことであり、福井鉄道との連携も図りながら、利用者の利便性の確保に力を注ぐべきである。
- ・ 鯖江に人を呼び込むためには、やはり交通網の整備と鯖江に魅力ある観光地が必要になる。
- ・ 福井、南越（仮称）や武生駅にない駐車場を、鯖江駅周辺やインターチェンジ付近に整備して鯖江に来てもらい、それを観光に結びつけるべきである。
- ・ 南越駅については、鯖江市民がどれぐらい利用するのかをシビアに捉えたうえで、南越駅にはこれくらいの駐車場がほしいといった鯖江としての要望も出すべきである。
- ・ 鯖江に活気が生まれるために、めがねや漆器など鯖江の魅力を発信することが大事と考える。
- ・ 観光地が少ない分、産業観光に力を入れ、地場産業地での体験や視察を通して、多くの観光客を鯖江に呼び込むことができるとよいと思う。
- ・ 福井県内に 10 年後新幹線が開業した時に、行ってみたいと思えるような目玉となるものを作ってみてはどうかと思う。
- ・ コンパクトシティ、IT、おもてなしなどいろいろアイデアはあると思う。目標を持って、みんなが同じ方向を見ながら、議論を進めるべきである。
- ・ めがねの他にチタン技術を生かした医療器具や楽器で、新たな魅力ある鯖江のまちづくりが創造できるものと期待している。
- ・ 新幹線で、鯖江の利便性がよくなったり、まちが活性化したりはしない。新幹線をきっかけとして、鯖江のまちづくりを考えるべきである。
- ・ いかに関西に強いオリジナリティとブランドをつくっていくかが重要であり、新幹線によりマイナスの部分が多い中で、それを乗り越えられるだけのものが必要となる。
- ・ JRから切り離されて三セク化される鯖江駅を、どのように活用していくかを検討する必要がある。
- ・ 市民が身近に集える場所をどこかにつくって、そこを中心ににぎわいを取り戻していくことも重要である。
- ・ 鯖江市としては、福井止まりを早急に実現すべきであると提言したい。
- ・ 相対的には新幹線が来ることは賛成であるが、鯖江としては早く福井まで新幹線を完成してもらおうという意味で、福井止まりを訴えるべきである。
- ・ 福井までを早期に開業したほうがいい。
- ・ トンネルを掘った後に残土の処理が心配である。
- ・ 在来線に特急が止まらなくなり、大阪等への利便性が悪くなると、将来の子供たちの進路の選択肢が狭まるのではないかと危惧している。